

第163号

平成30年 お盆号

発行 安住寺 (年4回発行)

臨濟宗南禅寺派

大分県杵築市大字南杵築379

〒873-0002 TEL0978-62-2680

FAX 0978-62-3980

URL <http://www.anjyuji.net>

編集 2.3頁 矢野明玄
1.4頁 矢野玄德

安住寺だより



禅の心

今年の 棚経日程 です

八 月	7日	火	茅場、大添、安岐、国東、宇佐
	8日	水	須賀、菊本
	9日	木	東大内山下、東大内山中、東大内山上
	10日	金	南台、杉山、錦江、片野、守江
	11日	土	安心院、大分市、新興、中尾、本村、丸尾
	12日	日	別府市、永代橋、西大内山浜組
	13日	月	中ノ原、鴨川、下下司、迫上、迫下、魚町本町、谷町
	14日	火	下原、祇園煙硝倉、札ノ辻、桃山、中平、本庄、宗近、守末
	15日	水	西大内山下、西大内山上、広小路、錦城、北浜、西上、北台、弓町、新町、西新町、古野

今年の棚経日程は、上記のとおりです。初盆供養や仏事もありますので、時間のお約束はできません。もし、ご不在とかでご都合の悪い時は、お早めにご連絡下さい。出来る範囲で調整いたします。詳細は、8月3日の施食会の日にお知らせします。8日からは小僧もお参りいたします。(3P参照)

総責任役員 植木文一郎
責任役員 矢野玄徳
住職 矢野明玄
平成三十年 盛夏

暑中お見舞い
申し上げます

お盆にお供えする野菜の一つ、フーロー豆



六月十八日朝、大阪府北部地方を震度6弱の地震が発生。小学生を含む四人が死亡。三万戸を超える建物に被害が発生しました。被災された方々の状況を心配していた矢先、七月五日から西日本を襲った豪雨で、九州四国、中国地方に甚大な被害が

豪雨災害と地震災害
のお見舞いを申し上げます。

発生しました。死者、行方不明者は二百名を超え、被災地域も広範囲に亘りました。復旧にも大変な難儀をされています。衷心よりお見舞いを申しあげます。

施食会 (おせがき)

八月三日(金)八時より法要

本年より、法要とおときは朝の一回のみです。食事を頂く方は、ご連絡下さい。

◎食事準備のお手伝いをお願いします。二日は三名、三日は、朝六時より十二名ほどです。多すぎても非効率ですので、先着順でお願いします。

行事の予定

八月定例行事休み

九月21日 敬老会

23日 9時〜11時

彼岸法要として、

ご詠歌と法話を致します。ご詠歌の妙音を聞くだけでも結構です。是非お参り下さい。待つてます。

早朝坐禅	ご詠歌
9月8日	9月7日
9月22日	9月18日
写経会	9月23日
9月20日	ご詠歌と法話の会
10月以降は 彼岸号でお知らせします	自由参加

護持会費と
墓地管理料の
お願い

七、八月は護持会費・墓地管理料の納付時期です。よろしくお願致します。



昨年の施食会の様子

『ブツダのことば』

(スッタニパータ)

中村元訳

第五章 「彼岸に至る道」

一〇六九—一〇七〇

ウパシーヴァさんがたずねた。
 「シヤカ族の方よ。わたくしは、
 独りで他のものにたよることな
 くして大きな煩惱の激流を渡る
 ことはできません。わたくしがた
 よつてこの激流をわたり得るへよ
 りどころくをお説きください。あ
 まねく見る方よ。」
 師(ブツダ)は言われた。
 「ウパシーヴァよ。よく気をつけ
 て、無所有をめざしつつ、『何も
 存在しない』と思うことによつて
 煩惱(ほんのう)の激流を渡れ。
 諸々の欲望を捨てて、諸々の疑
 惑を離れ、妄執の消滅を昼夜に
 観ぜよ。」



「一切皆苦」「四苦八苦」と言わ
 れるように、この世は無明による煩
 悩によつて苦しみ、時には薫にも縋
 る思いで、神仏や何らかの教えに救
 いを求めようとすることもあるで
 しょう。

ここでお釈迦様は他に頼ること
 なく煩惱の激流を渡るには、「無一
 物」で何も存在しない境地を思い、
 煩惱の激流を渡り、欲望を捨て疑惑
 を離れ、妄執が消滅した安らぎの境
 地を昼夜に観ぜよとお答えになつ
 ています。

断捨離という言葉が一時期よく
 聞かれました。不要なものを減らし
 身軽で快適な生活と人生を手に入
 れようとする思想です。

これはヨーガの行法で・断行(入
 つてくるいらぬ物を断つ)・捨行
 (不要なものを捨てる)・離行(物
 への執着から離れる)を取り入れた
 ものですが、ものに限つたことでな
 く、心の想念も、お釈迦様がウパシ
 ーヴァにお答えになつたように「無
 所有」無一物で、あらゆる執着を捨
 て去ることが大切で、そのことがま
 さに煩惱の激流を渡る方法だと示
 されたのです。

さて、中國宋代の詩人蘇東坡(そ
 とうば)が詩の一節に「無一物中無
 尽蔵(むいちもつちゆうむじんぞう
) 花有り月有り楼台有り」と読ま
 れています。

私たちの心に煩惱も欲望も迷い
 も一切の妄執が無くなれば、花や月
 や楼台に限らず、この世界と自己が
 融合し、自他の隔ての無い一切平等
 の境地を得られ、すべてのものが輝
 きに満ちて見えるというような意
 味です。

この詩は悟りの境地を示した禅
 語としても有名です。

欲望、疑惑、妄執を離れ、無所有
 無一物の心になれば、煩惱の激流も
 、穏やかな流れとなるのでしよう。



斯く言う私は、子供のことや、何
 だかんだと、心穏やかならぬ日々を
 送っております。隣のお地藏さんの
 ようなお顔でいたいものです。

《市外県外の方へ》

急なご不幸で菩提寺が遠く、ご遠
 慮されていらつしやるのか、日が経
 つてから、葬儀社さんの紹介で、お
 寺さんを派遣してもらい、ご葬儀を
 済ませたとの連絡をいただくこと
 があります。また年回忌の法要も、
 遠方で杵築の方まで戻られること
 がかなわらない方もあるようです。

ご葬儀、ご法要等でお困りでした
 ら、まずは安住寺までお電話をいた
 だきたいと思えます。ご遠方急な場
 合でも出来る限り対応させて頂い
 ております。



どうしても、住職がうかがえない
 場合でも、同宗派の和尚様をご紹介
 させていただくことも可能です。

また、時代の流れでしようか、市
 内外を問わず「墓じまい」「永代供
 養」のご相談件数も年々増えてきて
 おります。安住寺ホームページには
 永代供養墓「やすらぎの塔」の利用
 規則を掲載しておりますが、個々の
 事情により供養の形も違います。こ
 ちらもご遠慮なくご相談ください。

【お小僧さんのお参り地区】

本年も長男・長女一緒に
お参りいたします。

- 七月八日 ・須賀
- 九日 ・東大内山中
- 十日 ・錦江
- 十一日 ・本村、丸尾
- 十三日 ・迫上
- 十四日 ・下原、祇園煙硝倉
- 十五日 ・西大内山上



右の予定になっておりますが、その日の都合で変更の場合もあります。初めての地区もあります。名簿と地図を持たせますがよろしくお願いたします。

【お寺の行事】

八月九月は、山門施食会、敬老会と大きな行事が続きます。

地区のお世話人様、合掌会の役員様のご協力とお手伝いによりまして、円滑に進めることが出来ております。本当にありがたいことです。一方で地区によっては、世話人、

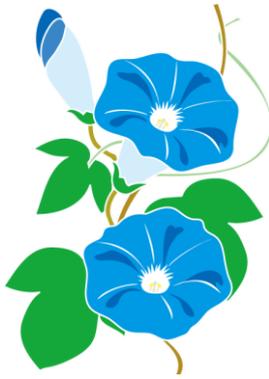
役員様の交代が出来ずに、同じ方が長年にわたり役をお勤めいただいていたりと、何とか役をお勤めいただいているいる地区もあります。

他の寺院の現状を見ますと徐々に行事が行えなくなり、縮小したり行事を取りやめる寺院もあります。

一方で奉賛会を立ち上げたり、青年会、サポーター制度にしたりと色々な形で寺院運営を行い活気ある寺院もあります。

安住寺においても、寺院運営が先細り寂しくなるのではと、心配がないわけではありません。

地区や年代世代にこだわらずに、お手伝い頂ける方がいると助かるのではないかと思っているところがあります。そんな方がありましたら、お声掛け頂けると幸いです。



一日も早く穏やかな生活に

長らく停滞する梅雨前線と連日の大雨に、心配をしましたが、まさか今回のように被害が広がるとは

想像もしませんでした。

広島県・岡山県・愛媛県をはじめ二百人以上が犠牲となった、西日本豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、暑さの厳しい中、避難生活を送られていらっしゃる方々にお見舞いを申し上げます。

一昨年四月の熊本地震、昨年の北部九州豪雨に続き、またしても大きな災害に見舞われたことは残念でなりません。

本来なら穏やかなお盆休みを迎えられるはずだったことを思うと、いたたまれません。

お寺としても他の災害同様に支援をしたいと考えております。

一日も早く穏やかな生活が戻りますことを願うばかりです。

《日々是好日》

★四月三日木付講がおこなわれ、安住寺開基木付親重公の法要が営まれました。★四月八日、杵築市仏教会「花まつり講演会」於城下町会館

★四月十八日、多治見市虎渓山永保寺住職田中義峰老大師津送新忌斎(葬儀・忌明け法要)に参列。義峰老大師が常に言われておりました

「時事の初心忘るべからず」改めて胸に刻みました。★四月二十三・二十四日、塔婆供養、説教会、無縁供養施餓鬼法要を無事お勤めいたしました。松江市長源寺の岸本恵親師にご法話頂きました。私より若い和尚様で同世代の子を持つ親で、色々お話が出来ました。布教師の和尚様は半月もご自身のお寺に戻らず布教をされます。子供に会えないのが寂しいと仰っておりました。私には務まりません。★五月二十日、南禅寺派大分市松岡の福寿寺和尚様の結婚式に随喜させて頂きました。★五月二十七日、総代世話人会を開催し決算等のご報告をさせて頂きました。今年度もご指導ご協力賜りますよう改めてお願いたします。★七月三日、臨済宗青年僧の会「社会を明るくする運動」協賛托鉢。★七月十五日須賀地区水神祭り、倉敷高梁川の決壊の後だけに、一年の無事豊作を強く願ってお勤めいたしました。★九月二十一日、例年の合掌会主催の「敬老会」が開催されます。毎回趣向を凝らした会になっていきますが、一芸をお持ちの方ぜひ参加してください。★ご意見ご感想などありましたらお聞かせ下さい。

明玄合掌

今年 初盆会 を迎える方々



広石碩田先生筆



本堂前のニンジンボク 7月上旬が見頃です



俗名	享年	住所
佐	様 81歳	
国	様 58歳	
荷	様 98歳	
川	様 79歳	
中	様 101歳	
麻	様 92歳	
是	様 88歳	
田	様 68歳	
吉	様 76歳	
木	様 95歳	
加	様 87歳	
栗	様 88歳	
藤	様 92歳	
熊	様 90歳	
佐	様 92歳	
村	様 45歳	
磯	様 93歳	
毛	様 83歳	
毛	様 82歳	
松	様 48歳	
三	様 69歳	
梶	様 90歳	
江	様 98歳	
須	様 93歳	
村	様 77歳	
木	様 100歳	

施食会って何？

今号は、施食会についての説明です。

元来は、施餓鬼会と言って期日を決めず随時に行う行事です。修行の妨げになる餓鬼に飲食を施す法要です。盂蘭盆会と混同して夏の時期に行うようになりました。

阿難尊者が修行中、鬼が現れ「お前も三日後に餓鬼になる」と告げられた。そのことをお釈迦様に相談すると「餓鬼に食を施し、真言を誦せば良

上記の方々が本年初盆を迎えます。檀信徒の皆様と共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(住所は檀信徒名簿による)



本堂前に設えた施餓鬼棚

食や水を供え、小枝を使つて位牌や供え物に水をかける。その際唱えるのが開甘露門(経本 23頁)の一節です。寺での法要の時、導師や参列の和尚が祭壇に向いて『水向け』をします。その後に

「いと教えられたことから行事が始まったようです。作法としては、本堂の外縁に棚をかけ、三界万霊碑、新亡の位牌を並べ、飲

檀信徒の皆さんも水向けをするのです。皆が同じようにすると祭壇が水浸しになるので、洗い米に枝葉に付けた水滴をかけて供養の気持ちを表すのです。(他説有り)

経文は「以此修行衆善根……尽出輪廻生浄土」です。意識すると次のとおり。「此の修行の衆の善根をもつて、父母の苦勞の徳に報い、生存している者には福楽にして寿はきわまりなく、亡くなつた者は苦を離れ、安養生じるように、四恩三有の諸々の含識、三途八難は衆生を苦しめ、伴に悔過を蒙り、心の傷を洗ひことごとく輪廻を離れて浄土に生じますように」です。そして、最後には「この功德によつて、皆ともに仏道を成ぜんことを」と祈り、ご先祖や餓鬼にも供えられた同じ食事を頂くのです。初盆会供養の際も、施餓鬼会の作法に準じて行います。